

2025年（前期）数理学習センター事前研修会&勉強会 報告書

3月25日（火）からの3日間、数理学習センター（通称MSLC）の事前研修会&勉強会を開催しました。

2月にMSLCでの活動を終えた先輩チューターを送り出して、少なくなったMSLCメンバーでしたが、リーダーの報告は、少ないからこそできるメリットを見つけ、MSLCの理念を再度共有し、今学期の目標、計画が着々と進められました。少人数でも学修支援の質を落とさないチームビルディングの考え方にみんなが賛同し、頼もしい研修会となりました。

MSLCでは、毎学期開始前に、「①MSLCの活動目標を共通理解し、学修支援業務が円滑にまわるようにする、②ピアチューターとしてのスキルの向上、③MSLCの講座や連携授業の計画と準備、④MSLCメンバー相互の親睦を深める」ことを目的として、事前研修会及び勉強会を実施しています。

今回は、最初に新規チューターへの採用通知書及び継続チューターへの昇格証明書の交付を行い、引き続き数学検定確認テストを実施しました。その後のセンター長講話では、「リベラルアーツ機構の年度計画」を紹介し、「MSLCの今期の目標」や「MSLCチューター育成プログラム」について共通理解を深めました。

午後は、新規チューターオリエンテーションも兼ねて、先輩チューターによるプレゼンテーションが行われ、「MSLCについて：基本理念・MSLCチューターとは・MSLCにおける7:3の精神」、「チュータリング（TR）とは、～TRですべきこと、してはいけないこと～」、「リフェラルスキル」について、チューターとしての心構えやMSLCの活動の内容を新規、継続チューターが共に再確認しました。チューターリーダーからは、「チームビルディングの考え方」について説明・報告等がありました。

勉強会では、太田佐栄子副センター長より健康情報学科との連携授業についての説明があり、新しい取組に期待する声も上がりました。以下にリーダーの発表及びチューターの研修会の振り返りを紹介いたします。

◆ リーダーの発表スライドより抜粋

チームビルディングの考えから

では「いいチーム」ってなんだろう？

↓

目標を達成するために協力し合い、
その中で個々人が高いパフォーマンス
を発揮するチームのこと

- ・けいすけチーム→関係が良好。発言が活発。互いに影響し合う
- ・なごみチーム→自分のために、チームのために・話しやすい雰囲気・目的や役割がはっきりしている

例えば...

- ・目標が明確で、メンバーの方向性が同じである
- ・メンバーの当事者意識が高く、主体性を持って行動できる
- ・役割分担が明確で、メンバーが相互にサポートしあえる環境である

→ 土台が必要になってくる

いいチームになるためには

土台は何になる？

心理的安全性とは？

- ・組織やチームにおいて、互いに信頼し自分の意見や気持ちを素直に、安心して表現できる状態

↓

MSLCはどうあるべきか？

今期のテーマ

職場 + 自分らしくいられる場所

2・5 thプレイス

■ 事前研修会事後アンケートより

「センター長講話」について

- ・何に対してもやることを心に自分もこれから頑張りたいと思った。努力を止めることなく今期を走り切りたいと思った。
- ・すぐやる・必ずやる・できると信じてやる。リーダーがPDCAサークルを回すこと。
- ・MSLCのあり方を再認識する事ができた。チューターとしての振る舞いや立場を理解して活動していきたい。
- ・MSLCとしての意識や心がけを改めて確認することができた。周年ということの頭において、より良い活動ができるように努めたい。
- ・すぐやる、出来ると信じてやるがとても大事な心がけだと思い、自由に行動できる大学生だからこそ大事にしたいと思いました。
- ・MSLCについて、また、先生の考え方を知ることができた。さまざまなことを考えていて、いつも異なる方向から物を考えていて多角的なもの見方のやり方が見えた気がした。いつも先生の話や聞くと「これもやってみよう」「あもできるはず」とやる気がでくる。これからたくさんを同時に進める上で、頑張ろう、と思える。私もそんなプレゼンができるように鍛えていきたいです。

チューターによるプレゼン①「MSLCについて（田浦和珠）」

- ・MSLC チューターとしての義務と責任を十分に理解し、活動がスムーズにいのように頑張っていきたい。また、自主学習ができる場ということも十分に理解し、今期も自分の数理能力の向上に努めていきたい。
- ・MSLCの基本理念や、学習支援を行う上でチューターとして行わなくてはいけない業務、意識しなくてはいけないことを改めて確認することができた。非常に分かりやすい説明だった。
- ・自分の業務だけでなくチームで協力することも大事にしたいと思った。
- ・優しさ・笑顔・努力を大切に学ぶの空間であることを頭にいれ、チューターとして自分自身の努力をとめずに成長に繋げていけるようにしたいと思った。私自身、チューターとして利用したときに感じたありがたさをチューターとして還元していければと思った。
- ・寄り添う学習支援、の部分を自身の体験談をもとに発表していて良かった。
- ・7:3の精神について考えることができた。聞く7割・話す3割は、忘れていたので今後気をつけたいと思います。

チューターによるプレゼン②「チュータリングとは（新里佳祐）」

- ・「チュータリングの流れ」は理解しているが今期はそれ以外にも伝える力（言語化能力）と質問に対する対応力を向上させられるように努力していきたい。
- ・MSLCの中でも大きな業務であるチュータリングの基礎や基本を確認することができた。
- ・チュータリングとは何か、どういう進め方で行うかを再確認できた。チューターの理解度を確認することを大事にしたいと思った。
- ・答えを教えるのではなく、答えに導くことを考えることの大切さを理解できた。また、導くためには自分が理解して、教えらるレベルが必要なので、工夫して努力をしたいと思った。
- ・一緒に考えて答えを導くための手助けをすること、答えを教えるのではなく「答えに導く」という点に気をつけたいと思った。具体例を用いていて良かった。
- ・チュータリングスキルのうち、自分が力を入れたい部分をピックアップする、という点を今期は取り入れていこうかな、と思いました。

チューターによるプレゼン③「リフェラルスキルとは（新里佳祐）」

- ・実際の状況を想定していないと、いざというときに行動する事ができないので、今回のチュータトレーニングでそのような場面を想像して対処法を考える事ができて良かった。

- ・チューターが学習障害について勉強しておくことでチューターを支えることができるようになって分かった。書籍などで勉強しつつも教員への相談をしっかり心がけたい。なにか緊急事態が起こり自分でどうしたら良いかわからない時は他人に助けを求めるようにする。
- ・緊急時に対応するために必要な知識や情報を知ることができた。
- ・サクラウムの AED の場所を把握することや、保健センターについて考える方ができた。
- ・リファラルスキルについて理解できた。このスキルはこれから働く中だけでなく、社会人としても重要だと考えるので、忘れないようにして磨いていければと感じた。
- ・リファラルスキルの定義を改めて知る方ができた。適切な機関を照会できる能力、という主轴を考えることができた。学習障害について、情報の保護に努める、という点や、「絶対的な正解はない」という点に気をつけようと思いました。



写真 事前研修会&勉強会の様子 (2025.3.26・27)